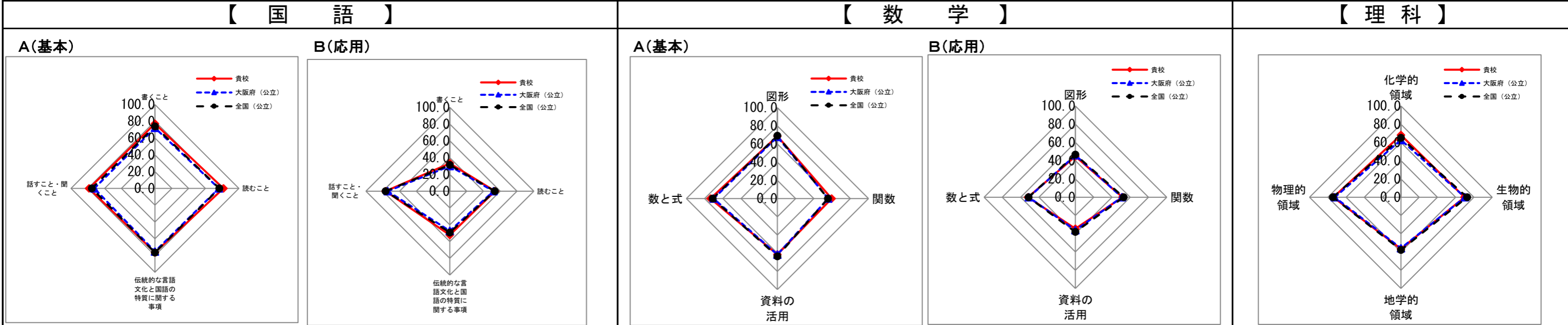


平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

富田林市立金剛中学校

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいりますので、保護者のみなさんのご理解ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



全体的な状況

全体的に全国平均相当の学力の定着が見られます。特にA(基本)問題において全ての領域で高い平均正答率でした。

- 成果**
- ・説明的文章から適切な情報を得て考えをまとめる力がついている。
 - ・話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す力がついている。
 - ・物語の場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。

- 課題**
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力が弱い。
 - ・文脈に即して漢字を書く力が弱い。
 - ・文章の構成や展開について、自分の考えを書く力が弱い。

課題解決に向けた取組み

- ・教科書に出ている語句の意味を調べたり例文を作るなどして語彙力をつける。
- ・自分の考えを書く機会を増やし、論理的に書く力をつける。
- ・漢字をはじめ言語の力をつけるために小プリント学習の充実を図る。

全体的な状況

A(基本)問題においては、全国平均相当の学力の定着が見られます。

- 成果**
- ・「数と式」や「方程式を解く・作る」、「座標」「一次関数と連立方程式の解」、「確率を求める」力がついている。

- 課題**
- ・「不等式に表す」問題や「資料の活用」に弱さがある。
 - ・数学的な思考を論述する力が弱い。

課題解決に向けた取組み

- ・基礎基本の定着に課題のある生徒には、放課後学習会にて丁寧に学び直しを行い定着を図る。
- ・「書く、説明する、証明する」などの問題をこれまで以上に丁寧に扱う。
- ・単元テストにて理解度のチェックを行い、復習問題で定着を図る。

全体的な状況

全国平均相当の学力の定着が見られます。第2分野の生物的領域、地学的領域について、やや課題が残ります。また、活用に関する問題の正答率が低く課題が見られます。

- 成果**
- ・科学的領域の正答率が高く、科学的な思考、表現力がついている。
 - ・物理的領域のオームの法則など、数値を用いた問題の正答率に成果が見られる。
 - ・自然事象への関心、意欲、態度に関する問題の無回答率が極めて低く、学力の定着が見られる。

- 課題**
- ・単語や事象の意味、原理の理解に課題があり、知識に関する問題の正答率が低い。
 - ・第2分野の生物学的領域、地学的領域の活用問題の理解に課題がある。

課題解決に向けた取組み

- ・復習、振り返りを更に取り入れ、基礎基本や重要語句の確認を行う。
- ・学習により得た知識を活用し、自然の事物、現象につなげ、自ら考えられるような題材を多く授業にて扱う。
- ・グループでのディスカッションや発表などの、アウトプットをする機会を増やし、科学的な思考力、表現力を高めていく。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
自分にはよいところがあると思う	85.1	72.7	78.8
先生は良い所をほめてくれる	90.3	78.0	82.2
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	50.7	34.1	38.7

全体的な状況

教員との関係も良好で、安定した状態で学校生活や授業に取り組んでいる。また、将来の夢や目標を考えるなど生活への積極性や自尊感情の高さも伺える。

成果

授業が「好き」「大切に思う」、学習内容を「理解できるようになりたい」「普段の生活で活用したい」などの項目で全国平均よりも積極的な回答が多く、向上心をもって取り組んでいる。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
家で自分で計画を立てて勉強ができていない	53.0	51.9	47.8
1日30分以上読書をする	20.1	24.9	30.9
地域社会などでボランティア活動に参加したことがない	45.5	36.9	26.2

課題

自己課題に対して主体的に考えて家庭学習に取り組む習慣の確立が必要である。ニュースなどの情報を、携帯電話・スマートフォンで知るとの回答割合の高さから、使用時間の長さが伺え、読書離れにつながっていると考えられる。

課題解決に向けた取組み

ホワイトボードを活用した授業を更に充実させ、ペアやグループでの話し合いの中で、自分の考えを表現し、友だちとの意見交流を積極的に行うなど、深く考えさせる機会を増やす。自己課題の改善や向上に取り組めるように家庭学習ノートの充実を図る。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- ・日頃の授業等での学習活動の成果が、見てとれました。最後まであきらめずに解答しようとする姿勢が、無答率の低さと正答率の高さにつながっていると考えられます。
- ・しかし、一方では自分で計画を立てて勉強することや、携帯・スマートフォンの使用時間の長さや、読書時間の短さ等の課題も見られました。
- ・これからの社会を生きる子どもたちに求められる力(主体的・対話的に学び、深く理解する力)を育成するため、学校教育において更に努力してまいりますので、ご家庭におかれましても、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いいたします。